

真剣な表情で資料に目を通す受講者



町の文化に触れ、新たな魅力発見

◎文化財サポーター養成基礎講座

文化財サポーター養成基礎講座は8月25日、中央公民館2階研修室で開催され、約20人が参加しました。第1回となる今回は、生涯教育課の幡上主任と愛媛県埋蔵文化センターの柴田圭子さんを講師に、「鬼北地域の中世の文化財」と題し講義が行われました。受講した人たちは、等妙寺旧境内から出土した遺物を取りながら、中世の土器・陶磁器についてなど、興味深い話の数々に真剣な表情でペンを走らせていました。

この講座は今後、2月までの間、シンポジウムなども行いながら、7回に分けて開催される予定です。

女の子も負けていません



町内の力士、意地のぶつかり合い

◎六地藏奉納相撲大会

8月24日、日吉地区・武左衛門広場において「六地藏奉納相撲大会」が開催され、町内の力士たちが力を競い合いました。

大会では、保育園児、小学校児童、一般の3部門に分かれて試合が行われ、どの選手も迫力ある熱い戦いを展開しました。

体格や性別に関係なく、誰が勝つか予想がつかない子ども相撲。ハラハラドキドキの展開に、観戦していた子どもも大人も目を奪われ、夢中になって熱い声援を送っていました。

参加者全員で記念撮影



ササ原の中、頂上目指す

◎日吉わんぱくスクール・瓶ガ森登山

8月26日、日吉小学校の児童たち18人は、石鎚山系の瓶ガ森登山に挑戦しました。

前日までの雨のため、足元の悪い状況ではありましたが、滑る岩に尻もちをつきながらも、全員が靴をドロドロにしながら頂上まで登りつきました。

頂上では風が強く、持参した上着やカッパを重ね着するほど。それでも頂上でお弁当を食べた子どもたちは、下りの道でも元気いっぱい歩き、残りわずかな夏休みを満喫していました。

親子の絆の話をする宇都宮さん



穏やかな語り口調に親子の絆実感

◎心に響く読み聞かせ会&親子読書会

「心に響く読み聞かせ会&親子読書会」は8月25日、「元気なきほくっ子を育む会・ほくはぐ」の主催で、中央公民館の図書室で開催されました。

この日は朗読家の宇都宮潤子さんを招いて、子どもたちへの絵本の読み聞かせやお母さんへ向けての親子の絆についての話などが行われ、参加した人たちは真剣な表情で話に聞き入っていました。

「ほくはぐ」では、子育てに関する情報・意見・疑問、また一緒にお手伝いをしてくれる方を募集しています。

shokuhagu@yahoo.co.jp